

## 第2回学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会 開催結果（概要）

- 1 日 時 令和6年10月4日（金）、18時00分～19時57分
- 2 開催場所 中妻地区生活応援センター 大集会室
- 3 出席委員 小笠原慎二委員、長谷川利香委員、遠藤一彦委員、内川留依委員、合田育美委員、小笠原英美委員、佐々木猛委員、福成菜穂子委員、柴田渥委員、洞口政伸委員、佐々木啓二委員、市川淳子委員、常陸奈緒子委員、鈴木崇委員（14人）  
田代高章アドバイザー（岩手大学教育学部教授）
- 4 欠席委員 市村かおり委員、山蔭深思委員、上小路悠子委員、檜山知美委員、藤井智哉委員（5人）
- 5 事務局 高橋勝教育長、藤井充彦教育部長、佐々木薫学校規模適正化推進室課長、浅野純一学校教育課長、鈴木隆光学校教育課主幹、佐々木憲一郎総務課長補佐、前川恵美総務課長補佐、谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐、結城伸予国際港湾産業課主事（岩手大学共同研究員）（9人）

## 6 経 過

### (1) 開会

藤井教育部長が開会を宣言

### (2) 委嘱状の交付

委員会アドバイザーへ委嘱状を交付

### (3) 教育長あいさつ

#### 【高橋教育長】

本日の委員会の開催にあたりまして、お忙しい中、そして雨模様の中、お集まりいただきありがとうございます。

第1回策定委員会では、学校の児童生徒の減少の推移がどうであるかということをも改めて説明いたしました。その中で、適正化をなぜ図る必要があるのかを御説明し、皆様からも率直な御意見をいただいたところです。

第1回目で皆様の意見を聞きまして、やはり様々な思いがあるのだなと改めて感じたところですので、教育委員会としましては、更に今後計画策定を進める中で丁寧に市民の皆様にも説明していくことが必要だと認識したところです。

学校規模の適正化・適正配置の基本方針の中で、小中一貫教育についても導入を検討するということが明記されております。小中一貫教育とは何なのか、皆さんか

らすると、小中連携と小中一貫でどこが違うかというところとか、隣の大槌町のほうでは義務教育学校という形で1年生から9年生までということで取り組んでいますが、それはいったいどういうことなのか。また、紫波町でも小中一貫教育ということで、大槌町とは違う形で一貫教育が進められている例もあります。

そこで今日は、田代先生から改めて小中一貫教育とは何なのかということ、小中一貫教育が目指すものはどういうところで、学校規模の適正化・適正配置とどう関係してくるのかというところを改めて御説明いただいて、今後の検討の参考にさせていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

紫波町で小中一貫教育を進めておりますが、田代先生はその助言者として関わっているということをお聞きしておりますし、色々な面で推進に大きな役割を担ったと伺っておりますので、ぜひそのようなご経験を踏まえながら私たちにお話していただきたいと考えております。

最後にわからないことがあれば、どうぞ皆さんのほうから質問をいただければと考えております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### (4) 委員長あいさつ

##### 【福成委員長】

前回1回目の委員会で、皆さんに忌憚のない意見をたくさんいただき、元気に発進できたことをうれしく思っている。

今日の2回目は、岩手大学教育学部の田代教授をお招きして、小中一貫教育の制度や現状に関する勉強会の場とさせていただく。先生の話聞いて、忌憚のない意見を出していただきたいと思っている。

今後の計画策定に向けた検討を進めていくために必要な知識を習得する、今日は貴重な機会。まずは先生のお話を伺って、わからないこと、聞いてみたいこと等があれば、積極的に質問していただきたい。

それでは小中一貫教育の制度、現状について、田代教授、よろしく願いします。

#### (5) 説明及び協議

##### 【田代アドバイザー】

「小中一貫教育の制度・現状について」※資料を基に説明

##### 【高橋教育長】

田代先生、今日は本当にありがとうございました。

今日のお題は、小中一貫教育の制度、現状についてということでしたけども、それ以上に、学校統合を考える上での本質的な部分のお話をしていただいたと思えます。

あくまでも小中一貫教育というのは、制度、手段であって、どのような子どもたちを育てていくのか、そういう方針の部分をおぼてははいけないなということをお改めて感じましたし、いろいろ聞きながら、いっぱい課題があると改めて感じました。

ただその課題の解決のためには教育委員会、行政だけではなくて、皆さんが教育に対してどういう思いを持っているか、そういう部分も含めて、みんなで協議していく必要があるなど。その中で、何か生まれてくるものがあるのではないかなというところで、改めて委員の皆さんもそうですけども市民の皆様にも当事者になってもらって、今後の釜石の子どもたちのためにどういうふうにするのがいいのかを推進計画策定委員会を通して考えていきたいと思ひましたので、今後ともアドバイスをよろしくお願ひします。

また、子どもたちの考えをどう聞くのかというところも大きな部分だと認識しましたので、どうしていったらいいのかもこれから考えていきたいと思ひます。

本日は本当にお忙ひしい中ありがとうございました。

#### (6) その他

##### 【谷藤室長補佐】

次回は11月の下旬または12月上旬の開催を予定している。日程が確定したら改めて委員の皆様にお知らせする。

今日の勉強会を終えて、自宅に戻った後とかに、新たに質問したいことが出てくるかもしれないが、その際は事務局に連絡してほしい。私たちから先生に確認させていただく。

#### (7) 閉会 (教育部長あいさつ)